

IV 戦略の目標

1. 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する目標

理念を受けて、生物多様性の保全および持続可能な利用に関するまちづくりの目標を次の通り掲げます。

| | | | |
|----|---|---|--|
| 目標 | 目標① ふるさとの生物多 様性を保全してい るまち | 目標② 自然のめぐみを持 続的に利用してい るまち | 目標③ 自然のめぐみの大 切さを市民が尊重 しているまち |
|----|---|---|--|

目標①は高山市らしい生物多様性をいかに保全していくかを示す目標、**目標②**はその持続可能な利用をすすめるための目標、**目標③**は生物多様性の考え方を市民生活や事業活動、市政の基本としていくための目標です。この3つは、どれも互いに密接につながりあっており、実現に向けてどの項目もバランスよく推進していく必要があります。

この目標が達成されることで、次のような未来が実現します

- ・ 広大な高山市内各地において、その土地本来の生態系が保全され、多様な生物が多く生育・生息しています。損なわれた自然環境は再生されています。
- ・ 現在伝承されているような知恵が同じように伝えられ利用されています。また、これまでに失った知恵が掘り起こされて現代風に復活し、また科学の新しい知見等をもとに開発された新たな持続可能な利用が根付いています
- ・ 市民一人ひとりが、ふるさとの生物多様性に親しみ、深く知るとともに、そのめぐみの大切さの理解を深めています。
- ・ 事業者は、環境に配慮した事業活動を通して、生物多様性のめぐみを活用した産業を展開するとともに、従業員は生物多様性の保全・再生活動に取り組んでいます。
- ・ 行政は、生物多様性を政策の基本の一つに据え、計画的に施策を展開しています。

2. 目標期間

斐太後風土記の内容について触れたように、高山市では100年余り昔、豊かな生物多様性を活かし、生活の様々な場面において持続可能な形で利

IV 戦略の目標

用していました。長い年月をかけて積み上げられてきた飛騨の生物多様性とその利用を、損なうことなく、またより充実させて未来に伝えることにより、基本理念に掲げた自然と共生するまちづくりの実現を図ります。

無数の生物とそれを取り巻く環境からなる生態系が変化、回復するには、大変長い時間を要します。また、それに伴う人間社会の対応・変化も長期的な視点に立って検討することが求められます。これらのことから、本戦略の目標期間を次の通り設定します。

生物多様性ひだたかやま戦略の目標期間 : 100年

これは、100年あまり前の風土記に記述されたような豊かな生物多様性と人とのつながりを、今後100年かけて取り戻す意味も含んでいます。

また、自然環境や社会情勢の変化に対応するとともに、生物多様性国家戦略や岐阜県の生物多様性地域戦略の見直し状況を確認しながら、10年を目処に見直しを行います。